

## 懇談会概要

■開催日時：令和8年6月29日（月）10：00～11：50

■開催場所：九段第3合同庁舎 15階会議室

### ■出席者

[委員長] 屋井 鉄雄 （東京科学大学特任教授・名誉教授）  
[委員] 池邊 このみ （千葉大学グランドフェロー）（WEB）  
小幡 純子 （日本大学大学院法務研究科教授）（WEB）  
佐々木 淳 （東京大学大学院新領域創成科学研究科教授）  
寺部 慎太郎 （東京理科大学創域理工学部社会基盤工学科教授）  
中村 英夫 （日本大学理工学部土木工学科教授）（WEB）  
[事務局] 関東地方整備局千葉国道事務所長 堤 啓  
千葉県県土整備部道路計画課長 近藤 亮  
千葉市建設局道路部長 小池 雄一  
市川市道路交通部長 （代理）道路交通部交通計画課長 白川 雅典  
船橋市建設局都市計画部長 （代理）道路計画部都市計画課長 奥村 統一  
習志野市都市環境部長 （代理）都市環境部都市政策課長 大和久 恭広  
市原市土木部長 （代理）土木部次長 飯高 一郎  
浦安市都市政策部長 （代理）都市政策部参事 平舘 亮一

### ■次第

- （1）ワークショップの開催報告
- （2）意見等への対応
- （3）今後の進め方

### ■主な意見

- ワークショップでは、年齢層や参加地区の偏りは見られたものの、関心のある市民が集まり、積極的に現状の課題等を議論いただいたことは大きなことである。
- ワークショップの参加者は高齢者が多かったものの、「孫が暮らして使いやすい道路にしたい」といった発言もあったようで、将来につながる討論がなされていた印象である。
- ワークショップでは、新湾岸道路の検討状況について認識している参加者が少なかったという意見もあった。年齢層にもよるが WEB などの情報発信だけでは地元の方々に十分届いていないことが明らかとなり、広報手段のあり方についても課題として認識できた。
- ワークショップの結果の報告と頂いたご意見については、このような取り組みを行っていることも含め、できるだけ多くの市民の方々に周知するため、ニュースレター7号を早期に公表し、引き続きご意見をいただくとよい。

- 今後整備される新たな道路であり、道路が景観のマイナス要因となるのではなく、プラスとなるような美しい景観を備えた道路のイメージを示していけるとよい。
- 道路の必要性については、ワークショップでの説明内容を踏まえてニューズレター 6 号において整理し発行したところであり、今後も住民に対して周知していく必要がある。
- 成田空港の効果のような、広域的な視点から本道路計画の必要性を示していくことが重要である。
- 一部区間の整備がどの程度の効果をもたらすのかを示せると良い。一部区間ではネットワーク効果が限られる一方、長期整備という点からは一部でも効果を発揮する箇所を早める等、計画ルートの考え方を整理して示していけるとよい。
- 成田空港の拡張により道路網にも影響が及ぶと考えられる。こうした関係性について、一般の方にも分かりやすい説明をしていくことが重要である。
- 道路整備の広域的な必要性だけでなく、周辺地域の方々にとってのメリットについても説明できるようにした方がよい。
- 千葉県や沿線市の上位計画において、地域の目標に対する道路の位置付けや役割が定められている。道路計画の構想段階では、地域の目標を定めていくものではなく、上位計画で整理されている地域の目標に対する道路の必要性を改めて、確認していく必要がある。
- 第 1 段階のスクリーニングの内容については、頂いたご意見を受け止め、その中から考慮に値する事項を抽出し、ルート・構造の 1 次案として合理的に整理されていることを確認した。
- 留意事項や付帯事項については、道路法改正や脱炭素方針など、近年の道路行政を取り巻く環境変化を踏まえ、道路整備に対する将来の考え方が変わりつつあることを反映した内容として示すことが望ましい。